



一般社団法人 日本形成外科学会

Japan Society of Plastic and Reconstructive Surgery

2021年9月1日

一般社団法人 日本病院薬剤師会
会長 木平 健治 様

一般社団法人日本形成外科学会
理事長 森本 尚樹



拝啓 貴学会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、血管腫治療薬ヘマンジオールシロップ（プロプラノロール塩酸塩シロップ、マルホ株式会社）使用中のお子様で、以下の事例の報告がありましたので、情報を共有させていただきたくご連絡差し上げる次第です。

記

生後3か月よりヘマンジオールシロップを12時間毎で服用を継続していた。1歳3か月時に形成外科において全身麻酔で手術を予定した。麻酔科医が術前の内服薬は継続で可と指示を出した。朝手術前に患児が軽度痙攣症状を呈し、小児科医により低血糖発作（血糖値17mg/dl）と診断され、ブドウ糖投与にて症状が改善した。事象レベルとしては3aであった。

以上

本剤の添付文書では、「反射性頻脈が減弱し、低血圧のリスクが高くなるため、全身麻酔薬を使用する処置が予定されている場合は、少なくとも48時間前に本剤の投与を中止すること」とされています。

本件につきまして、日本麻酔科学会、日本皮膚科学会、日本小児科学会の関連3学会にも周知依頼をさせていただきました。しかしながら、まだヘマンジオールシロップの副作用が必ずしも周知の知識となっておらず、安全管理の面から術前休薬リストに追加する等、薬剤管理面からのご対応いただければ幸いです。

今後の益々の貴学会のご発展を祈念申し上げます。

敬具